

新型コロナウイルス感染症対策特別委員会 報告書

NO.3

委員会日	5/4/2020	開催時間	10時～
付議事項	1. 各種団体の影響調査(1日目)		
内 容	<p>■ 山陽小野田医師会</p> <p>●現状では保健所は、掛かり付けの医療機関にかかりなさいと言われるのがほとんどである。すぐPCRをやるうというふうには言わないというのが現状である。それで、そういう熱のある患者が来られたときに、どういうふうな対応をするかということで、各医療機関が非常に困っている。</p> <p>●医療機関によっては、患者さんを車で駐車場に待機してもらっておいて、ドクター、ナースかが車に出向いて問診したり、診察するというところもある。</p> <p>●市民病院では入り口で嚴重な問診と体温測定をきちんとやって、コロナの疑いの強い方は別のところから入ってもらい、特別な対応を行うということもしている。</p> <p>●発熱外来を作る検討協議会を立ち上げて2回行った。その中で、近々に今の平日夜間診療所と小児科は日曜日、祭日にやっているが、そこを利用して発熱外来をやるうというふうに決まった。これは市が設置するが、医師会が全面的に協力してやるということである。今の予定では、昼の12時半から2時間、発熱のある方に37度5分の発熱のある方及び風邪症状のある方を対象に、そこに集まっていたいで診察しようということになったがスタートは調整中</p> <p>●マスクは、一括して市のほうから寄附を受けた。このマスクは各医療機関に平等に分配し活用している。</p> <p>●マスクは、大体1日に1回ぐらい交換する。これは医師ばかりでなく、看護師、受付の事務員もマスクをするので、幾らあっても足りない。マスクの寄付は非常にありがたい。</p> <p>●健康増進課が工夫して、ビニール、ゴミ袋みたいなものを使って手作りの防護服を作ってくれているようである。</p> <p>●疑わしい方はPCRをどんやって、陰性なら陰性で安心ですし、いわゆる隠れコロナ、言葉は悪いが、無症状の方、あるいは軽易な症状の方もいるので、そういった方も必要と思えば積極的にやっていけば、もう少し感染が抑えられるような気もする。</p>		

●マスク、消毒薬、できればフェイスガードとか、それから防護服等もやっぱり供給していただければ非常にありがたい。

●1週間ぐらい前に山口県の保健医協会がアンケート調査をした結果を出した。それは30%ぐらい患者が減っていると。科によって多いところは50%ぐらい減っているところもあった。特に頻回に患者さん行かれる例えば整形外科です。

●コロナの場合は、感染の可能性もあるので、電話でまず相談。基本は、高熱が続く場合には保健所であるが、保健所に相談すると、ほとんど、かかりつけ医に行きなさいと言われるわけですが、かかりつけ医の方に電話をまずして、それでその話を聞いて、かかりつけ医の方が指示をする。例えば、駐車場についたら、車の中で待機して、そこから電話してくれと。そして職員が出て行って、車の中で診察等をするとかである。あるいは建物が広い場合には、一部区画を発熱者のスペースにして、そのほかの患者さんと離れた状態でやるとか。あるいは換気をよくするとか。とりあえずは電話をしてほしい。

■理容・美容生活衛生同業組合

●感染拡大が続き、休まざるを得なくなった場合、市として支援してもらいたいということで要望書を出した。

●山口県と各市では指定業者になっていないが、宇部市、山口市、防府市等は、売上げが対年度20%以上落ちた場合、助成金が出ているので、検討してもらいたい。

●美容は、婚礼や式典がないので、収入も落ちている。2月は変わっていないが、3月が15%から20%減、4月は30%近く減となっている。開けていると批判される風潮があるのが怖い。

●周南市は休業要請で理美容を含むサービス業で6日以上休んだ場合20万円、売上げ減少で出るのが山口市、防府市が20万、宇部市が15万。下関ははっきり分からないが、サービス業に対し15万から50万となっている。

●祭りなどがあれば楽しい気分になり理美容は忙しくなる。早く日常が戻る事が一番の打開策だと思う。

■山陽小野田市PTA連合会

●友達に会えないので、ストレスを感じている子どももいる。学校から課題も出ているが、家でゲームなどをして過ごしている。親としては学習面、社会性の構築など不安がある。山陽小野田市はオンライン授業をやっていないが、やっているところと差が出るのではないかという不安もある。また、行事ができないので親同士のつながりもできていないので、PTAとしても不安を感じている。

●子どもが家にいるが実際には休みが取れていない。要介護の親がショートステイとかデイサービスが受けられないので家を留守にしている家庭がある。そういう中、家庭内でルールを作るがうまくいかない。子ども同士のつながりがオンラインになっている。普段はゲームを禁止していても、こういう時期なので制限することを親も苦慮している。子どもの意見としては、日頃は部活などできないことが家でできるという子もいるが、学校に行きたい、友達に会いたいということだった。

●学校も三密を避けるなど配慮すれば、親の不安も軽減されるのではないか。子どものことを考えれば、友達に会わせてあげたい。

●プリントが配られて、月曜日に先生が回って、回収することになっている。1週間でプリントを仕上げ、月曜日に先生が回収して、次のプリントが渡されている。マル付けは基本、家庭でやる。問題を解いて、保護者か本人がマル付けし、それを先生が回収する。

●市のホームページは小学校の授業については記載があるが、中学校はなく、情報が少ない。中学校は予習してくださいという教科もある。

●課題は、子どもに先生から受け取らせている。顔が見えるのが一番良いと思う。

●ずっと家にいるので、学校に行っているときのような緊張感が子どもにないので、親にもストレスがたまっていくというのはあるかと思う。

●中学校は中間テストがなくなり、内申も付けられない。評価をどうするのか中学3年の保護者は不安があると思う。いつまでこの状況が続くかによっては、9月入学ということも検討すべきではないかという気もする

●学習塾はいち早くオンライン授業をしているところもある。子どもが二人以上いるときに、タブレットが一つしかないなどの問題があると聞いている。

●大学生の子がオンライン授業をしているが、携帯からケーブルでテレビに接続している。新しく買わなくても大丈夫といった情報を発信すればいいのではないか。

●オンライン授業を早く取り入れたほうが良いと考えている。プリントだけではなく、先生、子供、互いに顔が見える授業が良いのではないか。

●低学年の保護者からは、一方的な授業を受けても集中できないのではないか、質問もできない、親の負担が増えるのではないか、常に付いていないといけないのではないか。低学年にオンライン授業はどうなのかという意見があった。また、授業の内容を学校単位ではなく、市教委ごとに配信するのが理想ではないかという意見もあった。

●子どもたちが学校にいないので、学校の整備を徹底的にやってもらえるとありがたい。

●再開に当たっては、密を防ぐため半数ずつ出るのか、それとも全員どっと出るのか、方針を早めに示してほしい。

●相談窓口をぜひ作ってもらいたい。

●夏休みが返上されると思う。家庭科室、音楽室等の特別教室にクーラーがないので心配である。進級したときに復習できるような指導要領があれば助かると思う。

■飲食業生活衛生同業組合

●今回の新型コロナウイルス感染症は飲食業を直撃をしている。リーマンショックとかバブルの崩壊とか比べものにならないぐらいの打撃を受けている。

●おおむね3月は半減、4月は4分の1以下という前年比の売上げが減少している。

●緊急事態宣言を受けて、自粛要請で休業を余儀なくされた店舗、また自主的に休業を行っている店舗もあり、再開のめども立っておらず、このような状態が長引けば多くの店舗が廃業、倒産の危機に陥ることは明らかである。

●要望は、1番目に、飲食店業の促進についてということで、テイクアウト、デリバリー、クラウドファンディング設立に関する御支援をお願いしたい。2番目に、助成金について、食品衛生許可証を有する全ての営業所に対して、山陽小野田市独自の助成金をお願いしたい。そして3番目は、家賃補助等について、休業中でもどうしても発生する固定費、テナント家賃の補助、それに関する固定資産税、市民税等の減免をお願いしたい

●営業再開は、5月7日から再開を予定しているところが多いと聞いているけれども、状況によっては延期する、または、いつ再開できるか未定という状況にある。

●料飲店組合小野田支部には約100件の会員がいる。山陽小野田市内で言えば、およそ300件ほど食品衛生許可証を持っている店舗があると推測される。

●社交場、社交飲食、あと、カラオケ店等は、ほぼ休業していると思う。一般の食堂とか、居酒屋のほうも半分以上はもう休業している状態にあると思う。営業しているところもテイクアウトのみっていうところもあると思う。

●学校給食であったりとか、病院の中に入ってるテナントというのは、もう立ち入り自体ができない、敷地にも入れないという状態で、収入が減るとか減らんとかでなく完全にゼロである。

●完全に閉めてしまうと、お客さんが帰ってくるのは、5月に帰ってくるのか、6月に帰ってくるのか。外で飲む習慣がなくなってしまうのがすごく怖い。

●全員アルバイトで雇用保険を今掛けてない状態なので、助成金がとれないんじゃないか。

●営業許可証に対して幾らっていう一律の給付金があれば、従業員に回すのか、家賃の補償に回すのかっていうのが経営者の判断でやりやすくなるので、一番使い勝手がいいんじゃないかと考える。

●家賃を減免するにしても、やっぱり大家さんのほうも収入が減ってしまうということなので、そのあたりで固定資産税とか、ほかの市民税とかの減免をお願いできれば、そしたら家賃の交渉もしやすいというふうに思っている。

●お持ち帰りを始めた店は、恐らく売り上げの10%程度、よくても20%とかぐらいだというふうに思う。それと持ち帰りの支援をお願いしたいというのは、2つあり、まず持ち帰りができる店舗の情報を周知徹底させてほしいということが一つ目のお願い。例えば市のホームページ、市の予算を使っただいて新聞広告、ちょっとおこがましいが、あと有効な手段としてポスティング。それと他市のことで大変恐縮であるが、テレビCMでそういう告知をしているような市もある。やはりここはちょっと我々飲食業の非常に厳しい状況で、こういうのに費用を捻出するのは厳しいので、何とかそういうことをやっていただきたい。もう一つは、持ち帰りのところでちょっとこれも他市の件で申し訳ないが、タクシー業界も今非常にお客が少ないということで、タクシーを使って配達を、例えば1000円までは市が見ていただいて、それ以上はお客さんにみていただくとかいうふうなことであるとか。そういう持ち帰りの商品を持ち寄って販売する場所の提供。例えば、ドライブスルーができるようなそういう場所の提供とか。あと一つがその持ち帰りができるようなプレミアム商品券というのも非常に効果的ではないかと思う。料飲店組合の話をする、持ち帰りができる店舗っていうのは限られてはいるが、まずはそこからというふうなことを考えているので、是非御検討をお願いしたい。

●ドライブスルーの弁当販売所やテイクアウト横丁があればよい。

●クラウドファンディングはいろんな問題があるにはあるが、まず、やはり現金がないことにはどうしようもないという方が結構いらっしやると思うので、それを是非お願いできればと思う。

●夢を持って山陽小野田市に店を構えた者に対して、市として救いの手を差し伸べて、苦しいときこそ山陽小野田市は優しく助けるんだよという姿勢をぜひ示していただきたい。

●雇用調整助成金は、非常に煩雑な手続が必要だということで、市のほうにお願いする筋ではないのかもしれないが、こういうことを申請しやすいような仕組みとかを、何か構築していただければというふうに思う。

■ 山陽小野田観光協会

●酒類の販売もかなり影響を受け、売り上げが落ちている。観光協会に飲食店も加盟しているが、売上げの落ち込みが大きく、テイクアウトを始める店も多いので、協会としてもバックアップしていきたい。

●いろいろなイベントも中止としている。旅行業者も厳しいと聞いている。ホテルも宿泊客が大幅に減少している。ゴルフ場も海外からの顧客が来なくなって厳しくなった。

●今は観光に来てもらう状態ではないので、バーチャルで目で見えて来た気になるようなビジュアルの展開をシティセールスの方をお願いしている。

●コロナが終息し、店を再開したときに、外食の習慣がなくなることを心配している。歓迎会とか送別会とかの風習が無くなることの懸念もある。

●観光協会の会員数は40団体、400人ぐらい。

●ビジュアルの展開とは、昨年作った映像を寄せ集めて出すことと、テレビ局が持っている映像を使わせてもらうことを考えている。山陽小野田市に行きたいと思ってもらい、コロナ終息後、来てもらうことが目的である。

●パークイン山陽小野田は定期修理等の宿泊客でほぼ満室と聞いている。

●観光協会ではマスクを1万2,000枚用意し、会員に有料で斡旋した。

●数年前、観光客数は市内で年間100万人。そのうちかなりの割合がゴルフ客である。ゴルフ場に聞いたところ、現在、半分に減っているとのことだった。昼の休憩時間を30分以内に短くしたり、お風呂は使わせないといった対策をされている。

●産業観光バスツアーは現在やっていない。

■ 小野田青年会議所

●今のところ建設現場は影響が少ないようだが、大手の受注が減ってきているので、今後仕事が減る予想をしている。小売業やサービス業はどんどん悪化している。長期化するとまずい、今、耐えている状況である。テナントで入る企業やイベント会社がすごく厳しいというのが実情なのかなと思う。また、給付金等の金銭の支援が必要という意見である。

●家賃や公共料金の支払い、テナント料など多様な用途に使用できるプレミアム商品券を発行してほしい。

●会員が辞めてしまうような経済状況になるのではないかと不安である。

●子供が高千帆小学校の3年生だが、最初はほとんど宿題がなかった。厚陽小学校は宿題が多く、先生も頻繁に各家庭を回っていた。学校休業を延長したときに宿題が出て、先生が1回来た。延長にした後の厚陽小学校の対応は聞いていない。

●人件費には手を付けたくないが、長期化すれば、何か手を打ってもらわなければ、人件費に手を付けざるを得ないのではないか。

●コンビニ本社から契約内容の見直しという話はないが、売上げが落ちている状況なので、廃棄の負担割合の見直しなど、細かくやってくれている。